

特集2 茨木市の予算の話

彼らは市の財政情報発信キャラクター「いばら騎士」。ある日、みんながテレビを見てみると、市の予算についてのニュースが始まりました。

皆さんこんにちは。NEWS IBARAKIの時間です。平成27年度の茨木市の予算について、取材の結果、その全貌が明らかになりました。今日の特集「茨木市の予算の話」で、詳しくお伝えいたします。



今年度の一般会計の予算の使い道はどうなっ

ていますか。今年度は、向性を示した総合計画の始まりの年として、財政の健全性を確保しながら、「今」必要なサービスの充実と、「将来」の活力あるまちの発展をめざして予算を組んだんだ。

今後10年間のまちの方向性を示した総合計画の始まりの年として、財政の健全性を確保しながら、「今」必要なサービスの充実と、「将来」の活力あるまちの発展をめざして予算を組んだんだ。

そうだよ。今年度は、向性を示した総合計画の始まりの年として、財政の健全性を確保しながら、「今」必要なサービスの充実と、「将来」の活力あるまちの発展をめざして予算を組んだんだ。

予算ってみんなが納める税金などの収入や使

まず、こちらの表をご覧ください。茨木市の平成27年度予算の内訳と総額です。一般会計では過去最大となった昨年度（882億円）とほぼ同規模ですね。

また、下水道の会計は公営企業へ移行したことで、水道事業会計と同じ企業会計に変わっています。



区 分	平成27年度 予算額 (円)	昨年度との比較	
		増減額 (円)	増減率 (%)
一般会計	879 億	△ 3 億	△ 0.3
特別会計	589 億 7,885 万	△ 23 億 8,162 万	△ 3.9
財産区会計	53 億 3,208 万	△ 1 億 183 万	△ 1.9
国民健康保険事業会計	343 億 289 万	53 億 2,493 万	18.4
後期高齢者医療事業会計	33 億 7,866 万	1 億 6,503 万	5.1
介護保険事業会計	159 億 6,522 万	6 億 6,925 万	4.4
公共下水道事業会計	—	△ 84 億 3,900 万	皆減
下水道等事業会計	120 億 9,159 万	120 億 9,159 万	皆増
水道事業会計	71 億 9,041 万	△ 9 億 5,547 万	△ 11.7
総 計	1,661 億 6,085 万	84 億 5,450 万	5.4

だ。子育て支援は待機児童対策などに力を入れているん

だ。子育て支援は待機児童対策などに力を入れているん

高齢者・障害者福祉、障害福祉サービスに係る給付費や生活保護費等が伸びているよ。子育て支援は待機児童対策などに力を入れているん

今年も福祉の充実が

ちよと今市民1人当たりの使い道をニュースで解説しているね（下欄）。

スクープ！

判明！これが予算の使い道だ！

1位



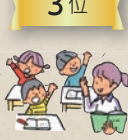
福祉の充実
149,400 円

2位



道路・公園等の整備
36,700 円

3位



教育の推進
35,300 円

4位 環境・保健衛生の向上
25,500 円

5位 市債（借金）の返済 17,100 円

6位 消防・救急業務 8,500 円

7位 農林・商工業の振興 4,700 円

番外 その他（防災対策等） 37,900 円

人口 278,960 人（2月末時点）で計算

そして、私たちが独自に入手した情報がこちらです！



一般会計予算 879 億円を市民 1 人あたりに換算（約 32 万円）したときの使い道の内訳ですね。

予算額上位分野の中身

1位 福祉の充実

子育て支援 65,600円 生活保護費の支給 27,700円
高齢者福祉 21,600円 障害者福祉 18,700円 など

2位 道路・公園等の整備

道路・街路・橋梁の整備 13,000円 JR 駅関連の整備 4,500円
公園・児童遊園の整備 3,600円 など

3位 教育の推進

学校・幼児教育 19,400円 社会教育 13,200円 など

では予算が多い上位3つの分野について、もう少し詳しく見てみましょう。先ほどと同じく、1人あたりに換算した金額です。

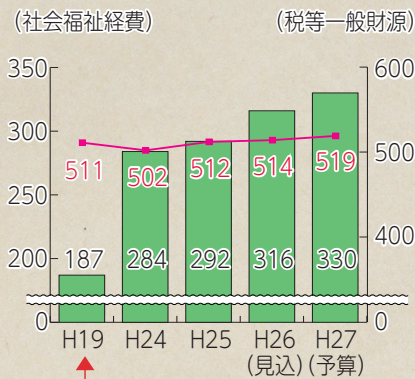


もう少し詳しく使い道を知りたいな。
ニュースで詳しく説明してくれているよ(左欄)。

ショック!

増加する支出と市債(借金)

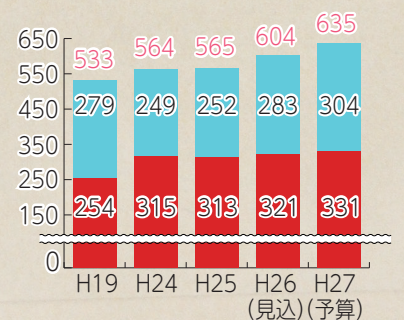
グラフ1 社会福祉経費・税等一般財源推移(億円)



ここ10年の市税収入ピーク時

■ 税等一般財源(右目盛り)
■ 社会福祉経費(左目盛り)

グラフ2 市債(借金)残高の推移(億円)



■ 赤字補てん債(臨時財政対策債等) ■ 建設債

しかし、さまざまな事業の拡充等に取り組む一方で茨木市の財政状況は必ずしも楽観できるものではないという情報も入っています。



市民の皆さんのためにどんどん新しいサービスを増やそう!
ちよっと待ちいや。気持ちちはわかるけど、財源は無限やないねんで。ニュースに注目してみ。
なんと!こんなに支出しているのか(左グラフ1.2.)も市債(借金)も増えているの(左グラフ1.2.)

はい。収入である税等一般財源の伸び(5億円増)を支出の社会福祉経費の伸び(14億円増)が上回っているんです。市債残高についても赤字補てん債の借入などにより31億円増加する見込みです。

ただ、そのような状況を受けて、市は「ビルド&スクラップ」や「ハード事業の適切な選択」などにより、財政の健全性の確保に努めているようです。



なるほど。家計で言う「やりくり」ですね。これからもやりくり上手な茨木市であってほしいですね。

そう。高齢化の進展などから社会福祉経費は増えているし、市債(借金)の残高も増えていて、今後の財政状況は厳しいんだ。でも、いかなる時も市民の皆さんの暮らしを支えていくために、市では今のうちから「やりくり

」をしているんだよ。ニュースでも今言ってるね。ビルド&スクラップ!新たなサービスを実施するために既存の事業を見直したのね。その通り。たとえば老人福祉センターを再編

して多世代が交流できる拠点にするなどしたんだ。ほかにも事業の精査や基金(貯金)の活用などにより財源を確保し、さまざまなサービスの充実を図っているんだよ。僕たち「いばら騎士」もがんばっていきな!

WEBで活躍中♪
いばらきの今と未来をまもるため
いばら騎士 参上!
いばら騎士と税の使い道

身近な暮らしで何が変わるのかは、施政方針(2~7ページ)をご覧ください。それではNEWS IBARAKIを終わります。ごさげんよう。

NEWS IBARAKI

勉強になったね♪